

昭和61年度

# 建設機械施工管理システム



建設省北陸地方建設局

# 概

# 要

建設機械による施工の管理は、タコグラフのチャート紙によって行っているが、この解析、確認、集計の作業に多くの時間と労力を要していたことから、タコグラフに代わるICカードを利用したデジタル式の運行記録計を開発するとともに、そのデータを汎用のパーソナルコンピュータで処理、集計する「建設機械施工管理システム」を開発し、機械の管理、運用に関する業務の合理化を図った。

## システムの特長

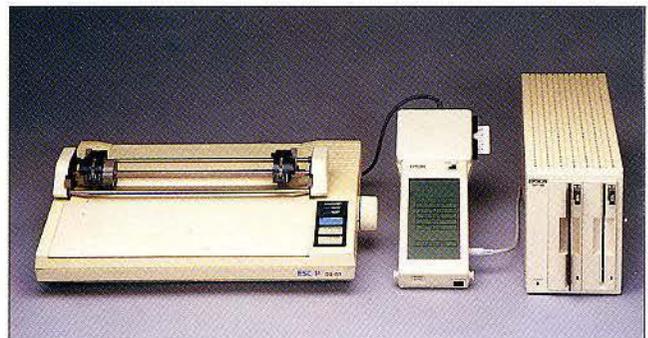
1. デジタル式稼働記録計\*1は、従来のチャート紙と同様、記録媒体の挿入、離脱のみで、機械の施工管理に必要なデータを正確に収集することができる。
2. 記録媒体には、取り扱い性に優れ、繰り返し使用可能な消去可能型ICカード\*2を使用し、16kバイトの記憶容量により、1枚あたり約24時間の稼働の記録が可能である。
3. 除雪作業日報等の出力は、ICカードを解析装置に読み取らせるだけで自動的に処理され、従来のチャート紙の読み取りに要する時間、帳表に転記する時間などが大幅に短縮され、個人的な読取り誤差も無くなる。
4. 解析装置では、稼働記録計のない機械のデータ、人力による作業のデータの入力が可能である。
5. 他の分野における、車両等の運行管理にも応用が可能である。

(注\*1) デジタル式稼働記録計：デジタル式運行記録計の道路運送車両法に基づく型式承認に必要な性能基準(案)(財)日本自動車輸送技術協会)に準拠する機能を有する。

(注\*2) ICカード：ISO等により規格の標準化を検討中。



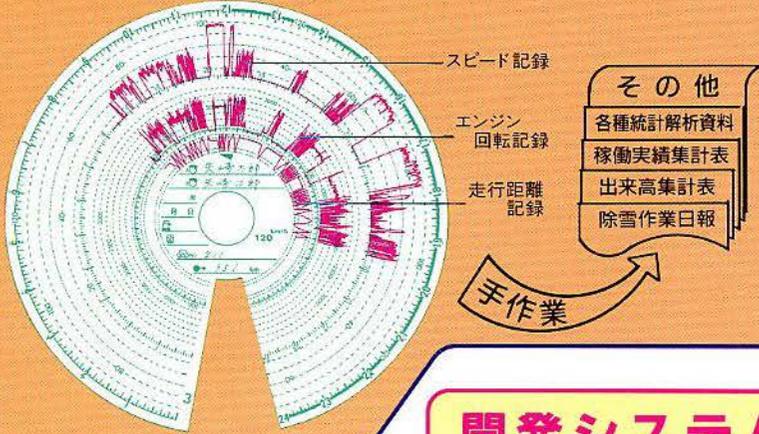
車載システム



除雪ステーションシステム

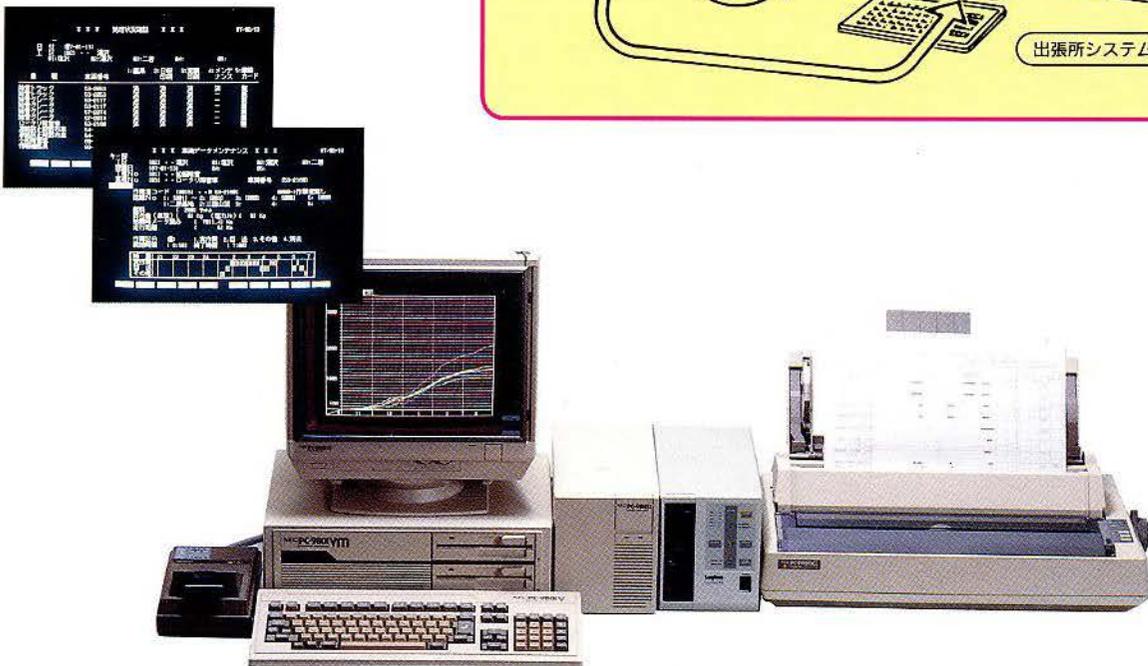
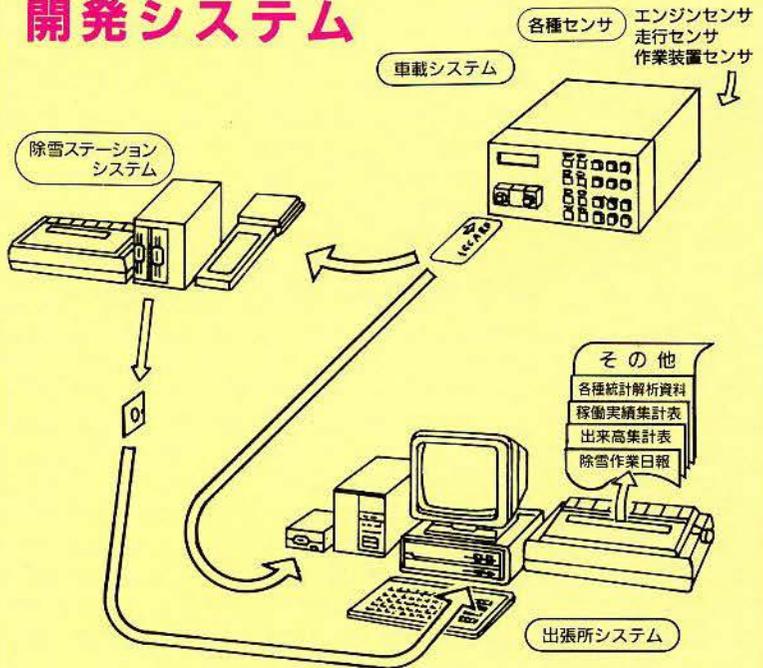
# システムの基本構成

現 行



デジタルシステム化

## 開発システム



出張所システム

